

令和3年度

論田小学校

「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 楽しく、わかる授業をし、わかりやすい板書を工夫することにより、児童の考えを深める授業の実践
- タブレットを積極的に活用し、新しい学びに挑戦する。
- 認め合い、話し合い、学び合う子どもの育成

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員	研修主任	大平江美	国語主任	元木智美	算数主任	吉成郁美
	少人数	武市三喜	特支学級担任	長谷さやか	6年主任	木下真紀	
	1年主任	5年主任	青木正文	4年主任	岩城 博	3年主任	大平江美
	吉成 郁美	2年主任	金森映人	1年主任	吉成郁美		

校長

稲井 智義

○次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的・基本的な知識・技能が身に付いてきた児童が増えてきている。 ●長い文章を正確に読み取ることや話し合いの基礎知識、身に付けた知識を関連付ける事に課題がある。	・文章を正しく読んだり、話し手の意図を的確に捉え、話を聞くことができる。 ・身に付けた知識や技能を他の学習や生活場面で活用することができる。	・音読を継続し、何が書かれているかを的確に捉えさせるようにする。 ・話す・聞くためのモデルを示し、意識付けを図るとともに共通理解する。 ・児童が学習の流れが分かるよう、学習のめあてやまとめをはっきりさせる。	・正確に文章を読むことができるようにするための音読をしっかりとさせるようにする。 ・学習の流れや自分の生活との結びつきの意識付けをさらにしていく。	・音読の習慣が付いて、大事なところに線を引くことで読む力が付いてきているが、読む力や聞く力をさらにのばしていく必要がある。 ・学習のめあてやまとめをすることで学習の流れが意識付けられ、生活との結びつきも気づくようになりつつある。	・基礎基本を大切に、タブレットをさらに活用していく。 ・長い文章を正確に読み取る力や話し合いの基礎基本や聞く力を伸ばしていく。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○文章を書く力が少しずつついてきている。 ●自分の立場や考えを明確にし、自分の考えをまとめたり表現したりすることに課題がある。	・自分の考えをきちんと表現することができる。 ・自分の考えをさらに深めることができる。	・自分の考えをまとめたり、表現する機会を多く設定する。また ICT を効果的に活用する。 ・児童の考えがわかるように板書の工夫をし、「なぜ」「どうして」「別の言い方をすると」などの更なる発問を行い、自分の考えを深めさせる。	・学年に応じてタブレットをさらに効果的に活用する。 ・文字数や文の数を決めるなど課題のある文章を書く機会を増やしていく。	・タブレットの操作に慣れてきている。 ・書く機会を増やすことで、少しずつではあるが自分の考えを表現できるようになりつつある。深めるまでには至っていない。	・学年に応じてタブレットの効果的な活用を模索しながら、原稿用紙に書くことも積み重ねていく。 ・学習のまとめを自分の言葉で書かせたり、児童同士での考えの交流をすすめる。

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○家庭学習にまじめに取り組む児童読書をする児童が増えている。 ●自尊感情が低い児童が多く、自分は認められていないと感じている児童の割合が高い。家庭学習の習慣が十分でない児童もいる。	・自分で計画を立て毎日家庭学習ができる。 ・本に親しみ、読書量を増やす。 ・自分を好きになり、意欲的に学習に取り組むことができる。	・児童が取り組みやすい家庭学習の課題を工夫し、習慣化させる。 ・図書室を充実させる。 ・体験学習や学校行事を通して、達成感や成就感をあげ合わせ、自尊感情を高める。	・読書量を増やしていくために読み聞かせや本の紹介をする。 ・日々の生活場面での達成感や成就感があげられるように課題を設定していく。	・家庭学習の習慣化が身についた児童が増えてきた。 ・本に親しむ児童も増えてきているが、様々な種類の本を読むことに課題がある。 ・数少ない体験学習や学校行事を通して達成感や成就感をあげ合わせることができた。	・家庭学習の習慣化をさらに進め、タブレットを使っでの家庭学習を進めていく。 ・学校行事・体験学習の精選や充実をはかりながら、生活場面の中での達成感にも目を向けさせる。

令和3年度 学力向上ロードマップ



